

平成30年1月 東京地区百貨店売上高概況

平成30年2月21日

I. 概況

1. 売上高総額	1,368億円余
2. 前年同月比	-0.2% (3か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.2%(92.6%) : 非店頭-4.9%(7.4%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成29年12月対比±0店)
5. 総店舗面積	844,760㎡ (前年同月比:-3.3%)
6. 総従業員数	17,957人 (前年同月比:-3.7%)
7. 3か月移動平均値	6-8月 1.0%、7-9月 2.1%、8-10月 2.5%、 9-11月 2.7%、10-12月 1.5%、11-1月 1.5%

[参考] 平成29年1月の売上高増減率は-1.5%

【特徴】

- (1) 東京地区入店客数は、全店平均では0.4%増となったが、改装効果や大型催事のあった一部店舗を除く過半の店では、1月後半の大雪と寒波が大きく影響して前年実績を下回った。好天に恵まれた月前半に限れば入店状況は概ね順調に推移していた。
- (2) 今年の初商は、恒例の福袋やクリアランスの動きが良かったものの、主力のコート等冬物重衣料に対する需要の強さに供給が追い付かず、シェアの大きいセール商材に品薄感が出て、売上高総額では0.2%減と前年に僅かに届かなかった。
- (3) インバウンドや高額消費の活況を背景に、引き続き雑貨は7.4%増(14か月連続プラス)と大きく伸ばした。内訳を見ると国内外ともに需要拡大が続く化粧品が二桁増(11.6%増)となった他、高級時計を含む美術・宝飾・貴金属もプラス(5.8%増)した。
- (4) 身のまわり品は、輸入特選雑貨(=ラグジュアリーブランド)が好調に推移して0.4%増と2か月ぶりにプラスに転じた。衣料品(3.3%減)は天候与件からコート、マフラー、手袋など一部防寒商材に動きが見られたものの、品薄感もあって2か月連続マイナスとなった。
- (5) 下旬のバレンタイン商戦は、食イベントとして拡大しており、関連の店外催事も好調。その他物産展や食品催事の人気も高く、その他食料品は5.5%増と3か月ぶりに対前年増。その結果、食料品は0.6%増と7か月ぶりにプラス転換した。
- (6) 2月中間段階の商況は、1.0%減(2/15)で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 29.8日(前年同月比 -0.1日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
①増加した:4店、②変化なし:5店、③減少した:10店
- (3) 1月歳時記(初売り、クリアランス)の売上(同上/有効回答数13店舗)
①増加した:5店、②変化なし:7店、③減少した:1店

東京地区百貨店 売上高速報 2018年01月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	136,848,742	100.0	-0.2
紳士服・洋品	13,183,737	9.6	-1.9
婦人服・洋品	28,652,756	20.9	-4.1
子供服・洋品	2,522,737	1.8	-4.5
その他衣料品	2,575,324	1.9	0.0
衣 料 品	46,934,554	34.3	-3.3
身のまわり品	20,773,710	15.2	0.4
化粧品	12,939,577	9.5	11.6
美術・宝飾・貴金属	8,164,919	6.0	5.8
その他雑貨	5,889,000	4.3	1.2
雑 貨	26,993,496	19.7	7.4
家 具	1,362,529	1.0	-8.8
家 電	714,073	0.5	19.2
その他家庭用品	3,619,029	2.6	-14.3
家 庭 用 品	5,695,631	4.2	-9.8
生 鮮 食 品	4,118,444	3.0	-2.5
菓 子	7,998,721	5.8	-1.7
惣 菜	6,342,967	4.6	-1.5
その他食料品	9,817,587	7.2	5.5
食 料 品	28,277,719	20.7	0.6
食 堂 喫 茶	2,909,153	2.1	-7.0
サ ー ビ ス	1,841,240	1.3	-0.1
そ の 他	3,423,239	2.5	-0.5

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商品券	1,704,078 千円	-7.6
従業員数	17,957 人	-3.7
店舗面積	844,760 m ²	-3.3

営業日数	29.8 日	前年	29.9 日
------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が14か月連続、身のまわり品が2か月ぶりのプラスとなった。また、家庭用品が17か月連続、衣料品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が34か月連続、美術・宝飾・貴金属が9か月連続、家電が5か月連続、その他雑貨が2か月連続、その他食料品が3か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.2	-	3か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-1.9	-0.2	6か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-4.1	-0.9	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-4.5	-0.1	3か月連続マイナス
その他衣料品	-0.0	0.0	4か月連続マイナス
衣料品	-3.3	-1.2	2か月連続マイナス
身のまわり品	0.4	0.1	2か月ぶりプラス
化粧品	11.6	1.0	34か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	5.8	0.3	9か月連続プラス*
その他雑貨	1.2	0.0	2か月連続プラス*
雑貨	7.4	1.4	14か月連続プラス
家具	-8.8	-0.1	2か月連続マイナス
家電	19.2	0.1	5か月連続プラス
その他家庭用品	-14.3	-0.4	10か月連続マイナス
家庭用品	-9.8	-0.5	17か月連続マイナス
生鮮食品	-2.5	-0.1	23か月連続マイナス*
菓子	-1.7	-0.1	3か月ぶりマイナス*
惣菜	-1.5	-0.1	3か月ぶりマイナス*
その他食料品	5.5	0.4	3か月ぶりプラス*
食料品	0.6	0.1	7か月ぶりプラス
食堂喫茶	-7.0	-0.2	5か月連続マイナス
サービス	-0.1	0.0	2か月連続マイナス
その他	-0.5	0.0	6か月ぶりマイナス
商品券	-7.6	-0.1	4か月ぶりマイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>